

ちばと海藻の関係？

編集人である加藤は、学生時代、海藻(コンブ・ワカメなど)について研究していました。千葉県に来て、もう3年以上経つのですが、この銚子・九十九里地区はなんと海藻と縁の深い地域だと思ふようになりました。何でかって？それは、これを読んでる皆さんの方が詳しいじゃないでしょうかね～。

山武地域では、正月の雑煮にハバリが欠かせないと聞きます。「はばをきかせる」っていうんで、大変縁起物らしいですね。

また、銚子地域では、乾燥したフクロフノリ(通称:のげのり)をみそ汁やお吸い物の身に使っています。

そして、銚子地区の秋から冬にかけての風物詩として「かいそう」がありますよね。一応どんなものか、おさらいしますと、コトジツノマタという海藻を干し、ドロドロに煮込んで固めたものです。食べ方としては、ネギや唐辛子、醤油をつけて食べます。この「かいそう」、カラギーナンという増粘多糖類が大変豊富で、カロリーはゼロ。美容が気になるお嬢さん、お腹周りが気になるお父さんにとって、最高の健康食品なんです。

銚子市漁協女性部では、7年前から、かいそうを毎年今の時期、製造・販売しています。これが毎年大好評。「もう、かいそう売ってないの？」なんて声が盛んに聞こえます。

今年度、千葉県では新たに女性漁業士を認定することになりました。銚子地区からは、この「かいそう」作りの中心的な女性、3名が認定される予定です。男所帯の漁業士会銚子支部の活性化に、女性の皆さんのパワーを発揮してもらい、ますますの発展することを期待しております。



銚子の名物 かいそう



女性部の「かいそう」製作

漁業士認定式&第50回千葉県青壮年女性活動実績発表大会

平成16年1月16日(金)、千葉市の中小企業会館にて、漁業士認定式と第50回千葉県青壮年女性活動実績発表大会が開催されます。この認定式で、銚子地区では、先ほど述べた女性漁業士が3名、そして青年漁業士が3名の、計6名の新たな漁業士が認定される予定です(銚子4名・海匠2名)。実は、千葉県の各支部の中で、最も多いんです。来年からは、千葉県で最大勢力となるんですよ～。

どのような方々が新たに入ってくるのか知りたいって？いやいや、次号19号にて詳しく述べましょう。ご期待！！



青年・女性漁業士講座の様子

第50回千葉県青壮年女性活動実績発表大会では、我らが漁業士、小畑輝明青年漁業士が発表することになりました。

発表内容は、『漁獲物の付加価値向上への取り組み』～資源を維持して所得向上～

と題して、銚子市漁協小底部会で実施している、魚市場への活魚出荷、船上での鮮魚の箱詰め出荷について発表する予定です。

何でも小底部会では、この活魚出荷を始めてから、ヒラメの活魚が増えて、かなり儲かっているようですよ。これを聞きに行かない手はない！！

是非とも、皆さんお誘い合わせの上、会場に足を運んでください。入場は当然無料です(▽)。



小底部会の活魚出荷の様子

お知らせ!!!

千葉県では、ちば食育ボランティアを募集しております。子供達に正しい食習慣を教えたい！ボランティアに興味がある！という方は千葉県農林水産部農林水産政策課政策室(043-223-2807)までお問い合わせください。

漁業士さんが先生に！？(漁業就労促進対策事業について)

県では、漁業士及び漁業協同組合と連携して、漁業就業を希望する方を対象に実践的な操業実習の場を提供し、新規漁業者の定着を支援するため、漁業就労促進対策事業を実施しています。

銚子地区では、今年1名の研修生を対象に、仁濱青年漁業士(延縄)、山口青年漁業士(立縄:きんめ)の両者にご協力を頂き、11月～12月上旬をかけて、延べ3日間の海上における操業実習を実施しました。

この時期は、荒天が続き、たった3日間の実習でしたが、完了するまでに約1ヶ月を要しました。

小型漁船漁業も後継者の不在や、高齢化により、近い将来、就業者がかなり減少する事は、目に見えています。一方で、他地区、他産業から、自営漁業者として地域漁業社会に入っていくことは、漁業技術を習得する以上に難しいことです。実習生の方の今後のご努力に期待するところですが、漁業者側も地域漁業社会の維持の観点から、これまでの閉鎖的な新規漁業就業者の在り方を考える必要があるかも知れません。

銚子管内の普及活動について

サトウガイの資源量調査事業について

白里漁業協同組合で実施している、サトウガイの資源量調査事業も今年で4年目となりました。今年度は、光町から一宮町までの間、37地点で調査を実施しました。その結果、長生地区で、大量の稚貝が発生していることが分かりました。



操業実習風景

まだ、漁獲物として販売するには早いのですが、1、2年後、良い形のサトウガイが漁獲できると思われれます。このサトウガイの調査事業を始めた当時、サトウガイの平均単価は、300円台と大変低く、漁獲対象としてはあまり考えられておりませんでした。海匠漁協青年部の共同出荷の取り組みなどで、最近では、600～700円台と十分漁業として成り立つまで至っております。せっかく復活した資源です。大事に漁獲していきましょう。



サトウガイの調査風景

(編集後記)

2003年も終わりに近づきました。皆さん今年はどうのような1年でしたでしょうか？私が今年よく耳にしたのは、気象が例年とは全く異なっていて、不漁だという暗い話でした(T.T)。こればかりは、普及員としても、何もすることができなくて随分歯がゆい思いをしました。

さすがに天気を変えることはできませんが、何か漁業のことや漁獲物の販売の事など、相談事があれば、気軽に水産事務所まで足を運んでください。

それでは、来年は良い年になりますことを、改良普及課一同お祈りしておりますm(..)m。

ご意見やご感想、情報提供がありましたら、銚子水産事務所改良普及課まで御連絡下さい。

連絡先: 電話 0479-22-8397

FAX 0479-22-9167